

コア企業：北海道トンボ株式会社（札幌市東区：学校服製造業）

連携企業等：ラッキーベル株式会社、株式会社トンボ

事業計画の概要：

肢体不自由者向けイージーオーダー型トータルウェア（ファッション）開発事業

1. 肢体不自由者向けのフォーマルウェアについては現在取り扱うメーカーがないことから、「晴れの場でフォーマルウェアを着させたい」という肢体不自由者の家族の希望を満たすためには健常者向けの既製品を購入して加工（直し）せざるを得ず、機能性、デザイン性に劣ること、金銭的負担が大きいこと、採寸、加工のための移動等に大きな負担を感じている。
2. 北海道トンボ（株）は長年に亘る制服の販売を通じ、とりわけ特別支援学校の生徒等肢体不自由者がフォーマルウェアの購入に苦勞している現状を解決すべく、入学式や卒業式、冠婚葬祭などの場で着用できるウェア等の開発に着手する。
3. 本事業では介助者の有無及び不自由部位に応じて型紙のパターン化を行い、デザイン性と機能性に優れかつ割安な価格で提供できるイージーオーダー型のフォーマルウェアを開発する。
また容易にコーディネートが可能とする、ウェアに適した専用インナーと車椅子に対応した靴を併せて開発し、肢体不自由者向けのトータルウェアとして提供する。
4. コア企業である北海道トンボ（株）がフォーマルウェアの企画・製造・販売を行い、連携体である（株）ラッキーベルが車椅子対応フォーマルシューズの企画・製造・販売、（株）トンボがニット製品による専用インナーの企画・製造・販売、及びトータルウェアの全国販売及びブランド構築を担う。

肢体不自由者が抱える服の悩み

- ・冠婚葬祭や改まった場に着ていく服がない
- ・そのまま着られる服がない、修理にお金がかかる
- ・お店で採寸するのが難しい
- ・障がい者が着られるオシャレな服がない
- ・トイレが大変で外出が消極的になる
- ・服の脱ぎ着が大変

肢体不自由者の父母の方向け アンケート結果概要

実施時期：平成22年7月から8月
集計人数：肢体不自由者の父母39名
寄せられた意見：
（服で困ったこと）

- ・腕を通しにくい
- ・着せにくい
- ・脱がせづらい
- ・ボタンがはめにくい
- ・着た状態で動きにくい
- ・トイレがしにくい
- ・手入れや洗濯がしにくい
- ・見た目が良くない
- ・価格が高い など



フォーマルウェア 開発イメージ

- 着脱しやすいよう、素材をストレッチ性に富んだものに。
- 着脱しやすいよう、背中部にファスナーを取り付け。
- 着脱仕様のパターン化を行う。
- 車椅子に対応した短い着丈に。
- トイレしやすいよう、ズボンの開口部を広く。



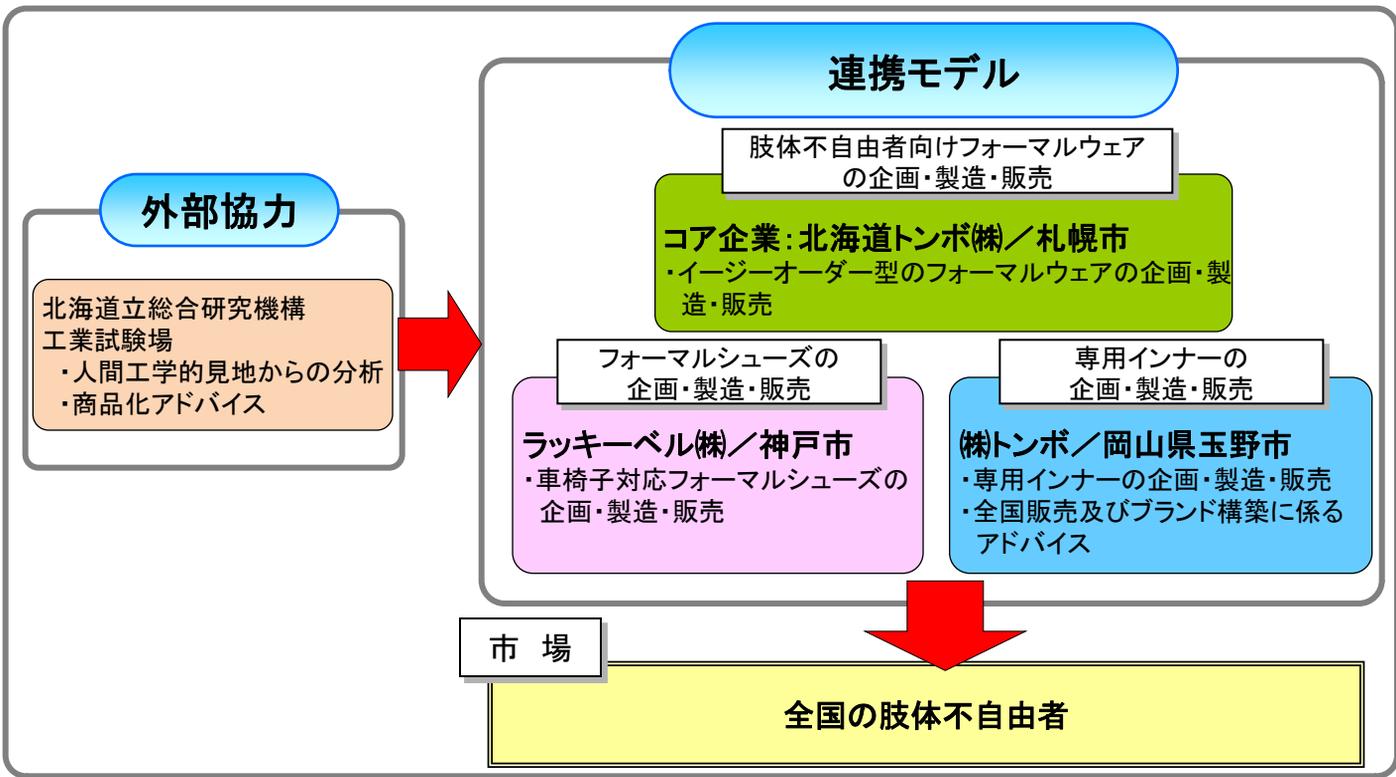
専用インナー 開発イメージ

- 着脱しやすいよう、磁石型ボタンの採用や開襟部を広げる。
- 洗濯にも耐えうる素材。
- 通気性のあるメッシュ素材を使用。



フォーマルシューズ 開発イメージ

- 履きやすく、かつ脱げにくいというニーズを満たすため、靴ひもをマジックテープに変更したり、スリッパ形状を脱げにくく改良するなど多角的に検討。
- 見た目がフォーマルで、ウェアに合ったデザインと素材のフォーマルシューズを使用。



連携効果

- ・北海道トンボ(株)(コア企業)による学生服をはじめとしたフォーマルウェア開発と、特別支援学校等との取引実績。
- ・(株)ラッキーベルの靴製造に関する業歴の長さと高い技術力
- ・(株)トンボの介護衣料で蓄積したニット製品の開発力と全国展開の実績

新事業

コア企業が肢体不自由者の特性に基づいてパターン化した型紙を使用してフォーマルウェアを開発、専用インナーとフォーマルシューズを併せたトータルウェアとして提供する。

市場性

- ・既存の衣服より割安でデザイン性と機能性に優れたフォーマルウェアに対するニーズ
- ・コーディネートが可能なインナー及び専用靴を含めたワンストップ購入に対するニーズ

支援メニュー

【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金、④その他(販路開拓支援)

コア企業の会社概要

企業名・代表者	北海道トンボ株式会社 代表取締役社長 岡田 宏	
所在地	北海道札幌市東区北6条東5丁目1番4号	
創立	1964年8月	
資本金・従業員数	5,000万円	39名
T E L / F A X	011-742-2551	011-731-1176
e - m a i l	h-mail@h-tombow.co.jp	
U R L	http://www.h-tombow.co.jp/	